

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

女子美術大学
2020年度
一般入学試験要項
(B日程)

<http://www.joshibi.ac.jp>



目 次

2	アドミッションポリシー 入学定員
3	入学者選抜方針
4	出願
7	受験
11	合格発表
12	「合否案内」について
14	入学手続
15	その他

アドミッションポリシー（求める学生像）

美術・デザインに深い興味を持ち、専門家としてそれぞれの分野で活躍することを目指す人、芸術によって社会に貢献し自立したいという意欲のある人材を求めます。

求める資質・能力としては、芸術に対し自由で柔軟な考え方を持っていること、対象をよく観察し理解する眼を持っていること、問題意識を持ち自ら考える姿勢を持っていること、個性を素直にのびのびと表現できることが挙げられます。

入学定員

大学 芸術学部

学科	定員	専攻・領域	入学後のキャンパス
美術学科	190名	洋画専攻	相模原（神奈川）
		日本画専攻	
		立体アート専攻	
		美術教育専攻	
		芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	220名	ヴィジュアルデザイン専攻	相模原（神奈川）
		プロダクトデザイン専攻	
		環境デザイン専攻	
		工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	160名	メディア表現領域	杉並（東京）
		ヒーリング表現領域	
		ファッションテキスタイル表現領域	
		アートプロデュース表現領域	

入学者選抜方針

優秀な専門技能を有し、各学科の適性を兼ね備えた方を求めるために実施します。各学科の適性を観る学科内共通の試験を含む、専門試験と面接の組み合わせにより合否を判定します。

募集人員

学科	専攻・領域	
美術学科	洋画専攻	
	日本画専攻	
	立体アート専攻	13名
	美術教育専攻	
	芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン専攻	
	プロダクトデザイン専攻	10名
	環境デザイン専攻	
	工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	メディア表現領域	
	ヒーリング表現領域	6名
	ファッションテキスタイル表現領域	
	アートプロデュース表現領域	

選考方法

専攻・領域別試験と学科内共通試験を実施し、その得点により合否を判定します。

なお、第1志望の合否については専攻・領域別試験の得点を重視し、第2志望以降の合否については、学科内共通試験の得点を重視して判定します。

ただし、どちらか一方でも一定の基準に及ばない場合は、合計得点が高くても不合格となる場合があります。



出願

- 「ネット出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

- 出願資格** 2020年3月31日までに、次のいずれかに該当もしくは該当する見込みの女子で、2020年4月1日に満18歳に達している方に限ります。
- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方
 - ②通常の課程による12年の学校教育を修了した方
 - ③外国において学校教育における12年の課程を修了した方もしくはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
 - ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
 - ⑤文部科学大臣が定める専修学校の高等課程を修了した方
 - ⑥文部科学大臣が指定した方
 - ⑦高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規程による大学入学資格検定に合格した方を含む）
 - ⑧国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格・GCE-Aレベルのいずれかを保有する方
 - ⑨上記①～⑧のいずれにも該当せず、本学において個別の資格審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方
- ※出願資格⑨に該当する方については事前に審査を行いますので、早めに女子美入試センターにご相談ください。

- 出願上の注意**
- 本入試は一般入学試験です。外国人留学生の方でも試験科目・判定基準は日本人と同様となりますのでご注意ください。（外国人留学生特別選抜入学試験は別々に実施しています。）
 - 外国人留学生の方が出願される場合は、本要項に記載した提出書類に加え、在留資格の確認等で必要な提出書類がありますので、早めに女子美入試センターまでご連絡ください。
 - 登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
 - 一度納めた検定料および提出書類は返還いたしません。
 - 登録完了後、定められた期日までに書類の提出がなかった場合は失格となります。失格となった場合も検定料の返金はできませんので、登録の際は書類送付の日程に注意してください。
 - 同一学科内の専攻・領域であれば第3志望の専攻・領域まで申請することができます。（登録時に申請が無い場合は、その権利を放棄したものとみなします。）
 - 出願資格を取得見込みの方で、4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
 - 受験票は提出書類の確認後に印刷可能となりますので、A4サイズ用の紙に印刷してください。郵送はしません。

出願登録期間 2020年2月20日（木）10：00～3月5日（木）13：00

検定料 30,000円
※「[検定料の減額制度について](#)」をご参照ください。

ネット出願手順

出願する入学試験要項で選択科目の有無などの内容をよく確認し、作業を始めてください。

- ※出願登録にあたってはPCメールアドレス・パソコン(インターネット接続済)・証明写真データが必要です。
- ※出願登録後の変更・取り消し、検定料の返金はできません。STEP 2では入力内容を十分に確認してください。検定料の支払い前に入力内容の誤りに気付いた場合は、検定料を納入せずに出願情報を再入力してください。
- ※出願登録が完了した時点で出願を受け、自動的に受験番号が決定します。
- ※受験番号は出願情報入力完了時の「受付番号(12桁)」とは異なります。

写真は、本人確認を行うためのものです。
また、入学された場合は学生証にも使用しますので、以下の点に注意してください。

- ・無帽、正面、無背景の証明書用写真であること
- ・本人確認が可能な鮮明なものであること
- ・白黒、カラーは問いません
- ・学生証に使用する上で不適切な写真の場合、入学後に写真を変更して再発行することは可能ですが、再発行の手数料は自己負担となります。

不適切な例：スナップ写真の一部を切り取っている
前髪等で顔が隠れている など



出願登録

STEP 1 ネット出願サイトへアクセス

大学ホームページ ▶ <http://www.joshi.ac.jp/>
から出願サイトへアクセス



STEP 2 出願情報の入力

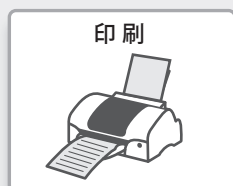
- ①画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ②画面に従って出願内容の選択、必要事項を入力してください。
- ③入力を完了すると、登録したアドレスに「出願サービス支払い手続きのご案内」メールが送信されますので、受付番号(12桁)・検定料のお支払期限を確認してください。

STEP 3 検定料のお支払い～登録完了

- ①STEP 2で受信したメールに記載されたURLにアクセスし、検定料のお支払方法を選択してください。 ※お支払いに必要な情報は必ず控えてください。
- ②画面に従って、検定料をお支払いください。 ※検定料の他に手数料がかかります。
選択できるお支払い方法
 - ▶ コンビニエンスストア
 - ▶ ネットバンキング
 - ▶ ペイジー対応銀行ATM
 - ▶ クレジットカード



提出書類の送付



STEP 1 各用紙をA4サイズで印刷

「志願票の印刷」にアクセスして「web志願票」などの必要な用紙を印刷します。

- ※ページの拡大/縮小は「なし」で印刷してください。
- ※「自動回転と中央配置」にチェックを入れて印刷してください。
- ※封筒貼付用宛名シートはカラーで印刷してください。

STEP 2 提出書類の送付

STEP 1で印刷した用紙と、「調査書」や「証明書」など、出願する入学試験要項で定められた提出書類を、郵送(簡易書留・速達)で定められた期間内に到着するように送付します。

- ※定められた期間内に提出の無い場合は失格となります。
- ※郵送にかかる日数を考慮して、証明書などは早めに準備してください。
- ※提出書類は、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた任意の角2封筒に封入してください。

受験票の印刷 ※郵送はしません。

提出書類の確認が取れた方は、出願サイトから受験票がダウンロードできる状態になります。
登録されたアドレスにメールで通知しますので、メールが届いたら試験の前日までに必ず印刷して試験当日持参してください。
受験上の注意なども記載していますので、必ずA4サイズの用紙に片面印刷して確認してください。

提出書類

- ①Web志願票（印刷したもの）1枚
※「ネット出願手順」に従い、登録を完了し、印刷してください。
- ②調査書（出身学校長作成）
ただし、調査書の提出が困難な次の場合はそれぞれ所定の証明書を提出してください。
 - ア) 出願資格⑦に該当する方
合格（見込み）証明書および成績証明書（免除科目がある場合は併せて当該学校の成績証明書）
 - イ) 出願資格⑥に該当する方
調査書に準ずる書類または修了（見込み）証明書および成績証明書
 - ウ) 外国の学校を卒業（見込み）の方
※出願にあたり早めに女子美入試センターまでご相談ください。 ☎042-778-6123
 - エ) 既卒者で発行可能な期間を過ぎている場合や、被災等の事情により提出が困難な方
卒業証明書および成績証明書
※成績証明書も提出困難な場合はその事由を記した当該学校からの書類を提出してください。
 - オ) 出願資格⑧に該当する方
それぞれの資格のディプロマと成績証明書
- ③特別な配慮を希望される方のみ配慮希望申請書(本学所定)および診断書
受験時や入学後の修学における特別な配慮を希望する方のみご提出ください。
「配慮希望申請書(本学所定)」はあらかじめオープンキャンパスや進学説明会等を利用して、本学の授業形態やキャンパスの施設・設備等をご確認いただき、具体的な内容について事前相談の上記入してください。所定用紙は事前相談の際にお渡しいたします。
また、事前相談の内容により配慮の上で参考となる資料を別途添えていただく場合があります。
事前相談による申請が無かった場合、受験および入学後の修学において対応できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
*事前相談については女子美入試センターまでお問い合わせください。 ☎042-778-6123
なお、この事前相談は、障がい等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験および修学にあたってより良い方法を相談するものであって、合否判定とは一切関係ありません。

提出書類に関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。
- 証明書類が和文または英文以外の言語で作成されている場合は、大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（和文または英文）を添付してください。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。

出願上の注意

- 提出書類は登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の封筒（角形2号）に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。（締切日17:00必着）
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。 ☎042-778-6123

書類送付締切

2020年3月6日（金）17:00必着

書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター
※アート・デザイン表現学科の試験場とは異なりますので注意してください。



受験

試験日 2020年3月14日（土）

※出願者多数の場合は、3月15日（日）に面接試験を実施することがあります。印刷した受験票でご確認ください。

試験場 学科により異なります

■美術学科、デザイン・工芸学科 相模原キャンパス（神奈川）

■アート・デザイン表現学科 杉並キャンパス（東京）

配点 全学科共通 【専攻・領域別試験】200点 + 【学科内共通試験】100点 計300点

※試験科目は学科により異なります。（下表参照）

	専攻・領域別試験（200点）	学科内共通試験（100点）
美術学科	専門試験	面接
デザイン・工芸学科	面接	専門試験
アート・デザイン表現学科	面接	専門試験

試験科目等

■美術学科

【専攻別試験】

●洋画専攻	
科目・時間	静物デッサン 9:30~12:30 (3時間) あらかじめ設置されたモチーフを鉛筆または木炭で自由にデッサンする
持参用具	鉛筆デッサン用具または木炭デッサン用具、その他必要な用具 ★デッサン用紙B3（画用紙または木炭紙）、木炭下書き用紙、カルトン、イーゼルは大学で準備します。
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサンの基本としての観察による「もの」の把握ができているか ・空間表現・画面構成がバランス良く表現できているか ・描画材料の特質を生かした表現力・描写力があるか
●日本画専攻	
科目・時間	水彩画 9:30~12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
持参用具	水彩用具一式（透明・不透明は自由 アクリル絵の具も可）、鉛筆、消具 ★F10号水彩用紙、画板は大学で準備します。
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・水彩画による表現力 ・モチーフの観察、構成力、質感の相違、色彩の表現力
●立体アート専攻	
科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを自由に配置し、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆（硬軟各種）、消具、その他必要な用具 ★B3画用紙、下書き用白色紙、カルトン、イーゼルは大学で準備します。
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか

●美術教育専攻	
科目・時間	<p>静物デッサンまたは学力試験（令和2年度大学入試センター試験結果を利用）</p> <p>[静物デッサン] 9:30～12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆または木炭でデッサンする。</p> <p>[学力試験] 令和2年度大学入試センター試験結果の中で最も得点の高い1科目を判定に使用する。 *「外国語」は200点、他の科目は200点に換算する。 *「英語」はリスニングを除き、「国語」は近代以降の文章のみを対象とする。 *「地理歴史・公民」および「理科②」の2科目受験者は、第1解答科目の得点を使用する。 *「理科①」の「基礎を付した科目」は受験した2科目の得点を合計して使用する。</p>
持参用具	<p>[静物デッサン] 鉛筆（硬軟各種）または木炭、消具、その他必要な用具</p> <p>★鉛筆デッサン用B3ボード（画用紙）または木炭デッサン用B3木炭紙、カルトン、イーゼルは大学で準備します。</p>
評価基準	<p>[静物デッサン]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか <p>[学力試験]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学に必要な学力を有しているか

●芸術文化専攻	
科目・時間	<p>小論文または学力試験（令和2年度大学入試センター試験結果を利用）</p> <p>[小論文] 9:30～11:30 (2時間) 与えられた課題に関して文章で表現する。 *辞書の使用不可</p> <p>[学力試験] 令和2年度大学入試センター試験結果の中で最も得点の高い1科目を判定に使用する。 *「外国語」は200点、他の科目は200点に換算する。 *「英語」はリスニングを除き、「国語」は近代以降の文章のみを対象とする。 *「地理歴史・公民」および「理科②」の2科目受験者は、第1解答科目の得点を使用する。 *「理科①」の「基礎を付した科目」は受験した2科目の得点を合計して使用する。</p>
持参用具	<p>[小論文] 筆記具</p> <p>★小論文用原稿用紙、下書き用紙は大学で準備します。</p>
評価基準	<p>[小論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性を有しているか <p>[学力試験]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学に必要な学力を有しているか

【学科内共通試験】

●全専攻共通	
科目・時間	<p>面接 13:30～</p> <p>受験生1～3人程度、1組10分程度</p>
持参作品	なし
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識、創作意欲があるか ・質問に対して自分自身の言葉で表現できているか

■デザイン・工芸学科

【専攻別試験】

●ヴィジュアルデザイン専攻

科目・時間	面接(作品持参) 13:00～ 作品持参によるグループ面接、受験生2～3人程度、1組15～20分程度
持参作品	<ul style="list-style-type: none"> 必ず本人が制作した作品であること 過去の入試問題に準じた作品でなくても良い 見やすい形式(現物、写真)で持参すること
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由が明確であるか 目的意識や学習、創作意欲があるか 質問を素直に受け止め、自分の意志を自分の言葉で表現できているか

●プロダクトデザイン専攻

科目・時間	面接(作品持参) 13:00～ 作品持参による面接、受験生1～3人程度、1組15～20分程度
持参作品	<ul style="list-style-type: none"> 必ず本人が制作した作品であること 過去の入試問題に準じた作品でなくても良い 見やすい形式(現物、写真)で持参すること
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由が明確であるか 目的意識や学習、創作意欲があるか 質問を素直に受け止め、自分の意志を自分の言葉で表現できているか

●環境デザイン専攻

科目・時間	面接(作品持参) 13:00～ 作品持参による面接、受験生1～3人程度、1組15～20分程度
持参作品	<ul style="list-style-type: none"> 必ず本人が制作した作品であること 過去の入試問題に準じた作品でなくても良い 見やすい形式(現物、写真)で持参すること
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由が明確であるか 目的意識や学習、創作意欲があるか 質問を素直に受け止め、自分の意志を自分の言葉で表現できているか

●工芸専攻

科目・時間	面接(作品持参) 13:00～ 作品持参による面接、受験生1～3人程度、1組15～20分程度
持参作品	<ul style="list-style-type: none"> 色彩構成(B3)1点 デッサン(B3)2点 作品資料(A4ビニールファイルに5点)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由が明確であるか 目的意識や学習、創作意欲があるか 質問を正確に理解し、自分の意志を自分の言葉で表現できているか

【学科内共通試験】

●全専攻共通

科目・時間	鉛筆デッサン 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に構成し、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆デッサン用具一式(パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッカー帳は使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描き用白色紙1枚は大学で準備します。
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 問題の内容を正しく理解しているか ものをよく観察し、理解し、表現できているか 構図等、バランス良く表現できているか

■アート・デザイン表現学科

【領域別試験】

●メディア表現領域	
科目・時間	面接 13:00～ 1人10分程度
持参作品	なし
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識、創作意欲があるか ・質問に対して自分自身の言葉で表現できているか

●ヒーリング表現領域	
科目・時間	面接 13:00～ 1人10分程度
持参作品	なし
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識、創作意欲があるか ・質問に対して自分自身の言葉で表現できているか

●ファッションテキスタイル表現領域	
科目・時間	面接 13:00～ 1人10分程度
持参作品	なし
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識と意欲を持っているか ・質問に対して、自身の考えや意見を的確な言葉で表現できているか

●アートプロデュース表現領域	
科目・時間	面接 13:00～ 1人10分程度
持参作品	なし
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識、創作意欲があるか ・質問に対して自分自身の言葉で表現できているか

【学科内共通試験】

●全領域共通	
科目・時間	<p>鉛筆デッサンまたは文章表現</p> <p>[鉛筆デッサン] 9:30～12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする</p> <p>[文章表現] 9:30～11:30 (2時間) : (アートプロデュース表現領域のみ選択可) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する</p>
持参用具	<p>[鉛筆デッサン] 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描き用白色紙1枚は大学で準備します。</p> <p>[文章表現] 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用白色紙1枚は大学で準備します。</p>
評価基準	<p>[鉛筆デッサン]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランス良く表現できているか <p>[文章表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか

受験上の注意

試験に関する伝達事項は、主として本要項と当日配布するプリントによるほか、掲示で行います。

受験票

- 試験当日は、A4サイズ用の紙に印刷した受験票を必ず持参してください。

開門・入場時間

- 正門の開門時間は**8:00**です。遅くとも試験開始の30分前までには来校してください。
- 美術教育専攻、芸術文化専攻の専門試験で学力試験（大学入試センター試験結果1科目を利用）を選択した方は、面接開始時間の30分前までに来校してください。
- 専門試験会場への入場時間は、試験当日大学の指示に従ってください。

遅刻・退場

- 遅刻・退場については大学の指示に従ってください。
- 試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。

試験会場

- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。
- 試験会場の号館・教室番号は試験当日にお知らせします。

専門試験

- 洋画専攻・立体アート専攻・美術教育専攻の木炭選択者は、イーゼルを使用して行いますが、他の専攻・領域および美術専攻の鉛筆選択者は机上での試験です。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン、イーゼル等は本学で準備したものを使用してください。

受験生の失格

- 定められた期日までに書類の提出がなかった場合や、1科目でも受験しない科目がある場合、専門試験の選択科目を届け出た科目で受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。

その他

- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は営業しています。
- 付添いの方の学内への立ち入りはできるだけご遠慮ください。

合格発表

発表日 **2020年3月16日（月） 18:00**

※発表時間は状況により遅れる場合があります。

- 合格者全員に合格通知と入学手続き書類一式を郵送します。不合格通知は発送しません。
- 合格発表日の発表時間より、電話とインターネットによる「合否案内」での簡易発表を行います。この発表は、合否確認の補助的な手段ですので、正式には本学からの合格通知によりご確認ください。「合否案内」の利用方法については次ページをご確認ください。
- 合否について本学へ直接の電話によるお問い合わせには、お答えできません。
- 学内の掲示発表は行いません。
- 合格者で、入学手続き書類が発表日の翌々日を過ぎても到着しない場合はお問い合わせください。（ただし、それ以外のお問い合わせにはお答えできません。） ☎042-778-6611
- 補欠者の発表がある場合は、該当者に順位を明記した「補欠通知」を郵送します。その他の発表方法で補欠順位は発表しません。補欠者は入学手続き締切後、欠員が生じた場合、発表した順位に従って繰上げ合格となります。繰上げ合格となった場合は、出願時に登録された連絡先に、随時電話またはメールにて連絡します。発表以降連絡先が変更になった場合は、確実に連絡の取れる電話番号を補欠通知書に記載している補欠連絡係までご連絡ください。欠員がない場合は連絡しません。



「合否案内」について

「合否案内」は正式な合格通知の補助的な手段として、インターネット（パソコン・スマートフォン）電話による音声案内で合否結果を確認できるサービスです。
※正式には本学からの合格通知によりご確認ください。

利用上の注意

- 定められた日時以外には利用できません。利用日時や利用方法をあらかじめ確認の上、ご利用ください。
- 利用の際は、受験番号・生年月日が必要です。
- 「誤操作」「聞き間違い」を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- 「誤操作」「聞き間違い」を理由とした合否、操作方法、受験番号に関する電話でのお問い合わせには一切応じませんのでご了承ください。
- 「合否案内」では補欠順位は発表しません。
- 併願している場合は、それぞれの受験番号ごとに確認してください。
- 発表直後はインターネット・電話ともつながりにくい場合があります。つながらない場合はしばらくしてから再度行ってください。

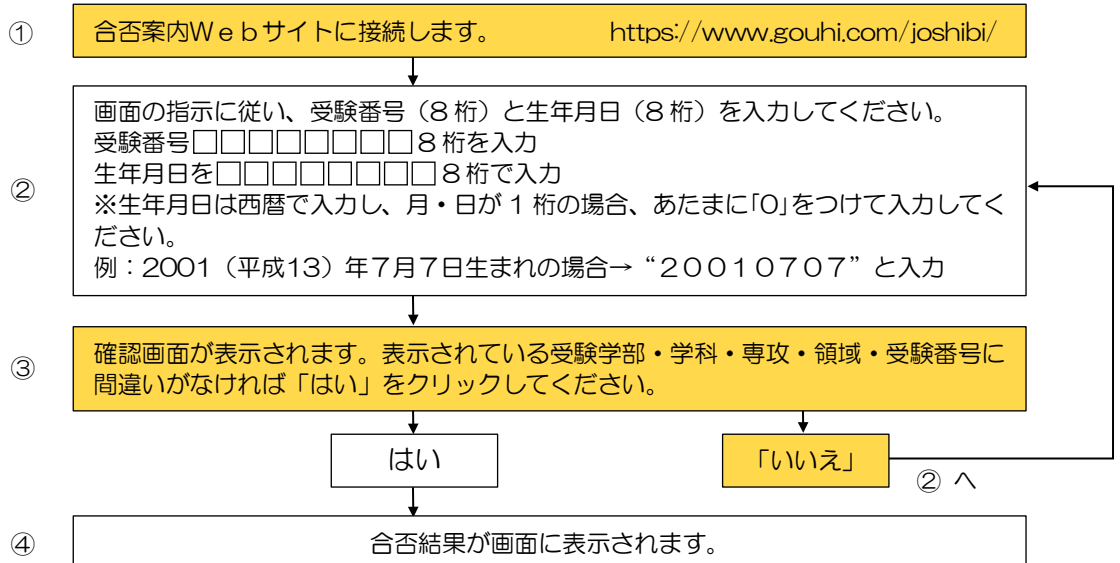
利用可能時間

インターネット・電話 共通
合格発表が午前の入試→発表時間から当日 24：00 まで
合格発表が午後入試→発表時間から翌日 24：00 まで

インターネットによる合否案内

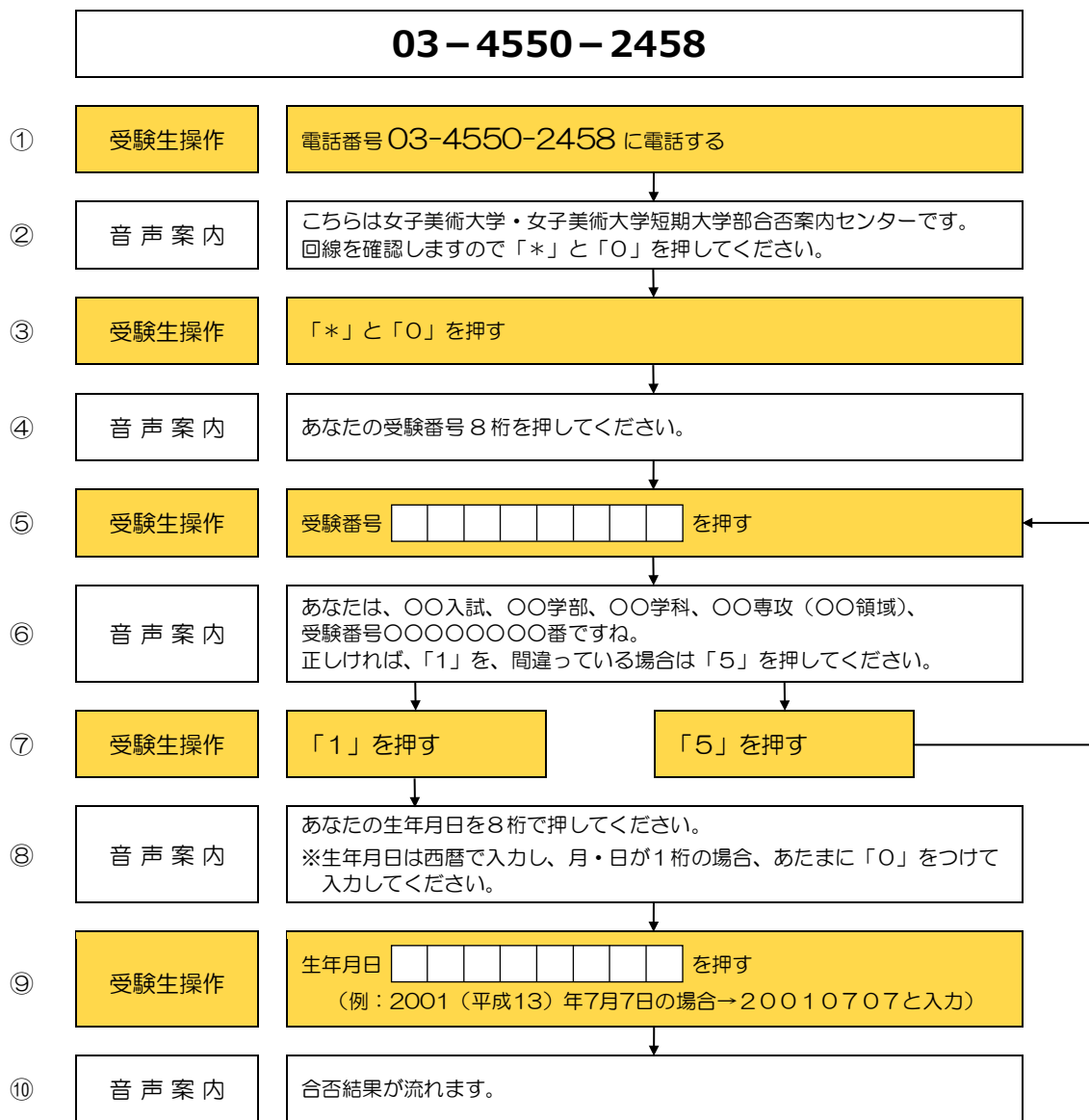
- インターネットに接続したパソコンおよびスマートフォンから利用することができます。ただし、パソコンのブラウザ・スマートフォンの機種によっては、表示ができない場合や、若干の違いがある場合があります。

<https://www.gouhi.com/joshihi/>



**電話による
合否案内**

- 家庭用のプッシュ式電話・携帯電話・公衆電話（グリーン・グレー）から利用できます。



入学手続

締切日までに所定の書類を提出し、入学手続時納入金（下表①）を指定銀行口座にお振込みください。この手続きが完了した後に入学許可書を郵送します。

*入学手続書類は合格通知に同封します。

*参考として2019年度の学費を記載しますが、2020年度については若干の変更がある場合がありますので、合格通知に同封する「入学手続の手引き」で再度ご確認ください。

締切日 2020年3月23日（月）

学費 初年度納入金（2019年度参考） （単位：円）

学科	専攻・領域	入学金	前期授業料・施設設備料等	①入学手続時納入金 (入学金+前期授業料等)	②後期授業料等 納入金合計	初年度納入金 (①+②)
美術学科	洋画	220,000	847,260	1,067,260	837,100	1,904,360
	日本画		833,760	1,053,760	823,600	1,877,360
	立体アート		849,760	1,069,760	839,600	1,909,360
	美術教育		833,260	1,053,260	823,100	1,876,360
	芸術文化		833,260	1,053,260	823,100	1,876,360
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン	220,000	839,160	1,059,160	829,000	1,888,160
	プロダクトデザイン		843,160	1,063,160	833,000	1,896,160
	環境デザイン		839,160	1,059,160	829,000	1,888,160
	工芸		843,160	1,063,160	833,000	1,896,160
アート・デザイン表現学科 (各領域共通)		220,000	853,260	1,073,260	833,100	1,906,360

※アート・デザイン表現学科については、個人用のノートパソコンに係る経費として、在学中毎年度徴収している¥49,000（初年度¥10,000）を含めて表記しています。なお4年間在学した学生には、卒業時に譲渡します。

※後期納入金の納入期日は、入学年度の10月5日となります。

※次年度以降の学費については、社会経済情勢等に応じて改定されることがあります。

納入金返還制度

入学を許可された方が入学辞退する場合は、下記期限までに「入学辞退届」を提出し、本学がこれを受理した場合に限り、入学金を除く他の納入金を返還します。（詳細は合格通知同封の「入学手続の手引き」を参照）

入学辞退届提出期限 2020年3月31日（火） 17:00 必着

今後変更がある場合は、合格者に送付する「入学手続の手引き」でお知らせいたします。

納入金の振替

学費を納入後、本学内で、併願先の合格や補欠繰上げ合格等により芸術学部の他の専攻・領域、短期大学部に入学先を変更する際は、納入金の振替が可能です。



その他

宿泊 本学では入試の際の宿泊施設等のご案内・受付は行っておりませんので、宿泊を必要とする方は、各自でご手配ください。

入学後の住まい 遠方より入学され自宅通学が困難な方に対し、安心して学ぶことのできる居住空間の提供と経済的な負担軽減を目的として住まいのケアを行っております。
申込手続等詳細については、入学手続書類に同封します。

個人情報保護について 「学校法人女子美術大学個人情報保護に関する基本方針」に基づき、資料請求および出願書類等への記入においてお知らせいただいた皆様の氏名、住所、電話番号、学校名、学年その他、個人を特定できる情報（個人情報）については、適切に取り扱います。
なお、ご提出いただいた個人情報は入学試験選考、可否の連絡、入学手続、統計・調査、およびこれらに付随する業務のために利用いたします。
※本学における個人情報の保護に関する基本方針は本学ホームページにおいてご確認ください。

寄付金等の募集について 本学では、寄付金等の募集については、入学前には一切行っていません。従いまして、寄付金等の納入を条件とした入学許可は行っていません。保護者の皆様からのご寄付は任意であり、本学の教育環境の充実等に向けた募金の趣旨にご賛同いただいた方にご協力を賜ることにしております。入学後にあらためてご依頼いたしますので、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

「二ケの会」について 「女子美術大学 二ケの会」は、学生の保護者が中心となり、大学と協力して、学生生活の向上と大学の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦と教養を深めることを目的に活動しています。

授業料減免制度 大規模自然災害被災学生および私費外国人留学生に対する減免制度があります。

奨学金制度 奨学金制度には大きく分けて学内奨学金と学外奨学金の2種類があります。

1. 学内奨学金

本学独自の奨学金で勉学の機会をできる限り援助するため、返還義務のない給付型の奨学金を設置しています。入学後に申請が必要です。

2. 学外奨学金

学外の団体等によって運営されている奨学金制度です。対象、応募方法、募集時期は設置団体によって異なりますが、それぞれの条件にあてはまる場合にのみ応募できます。

こうした団体の代表的なものとして「独立行政法人 日本学生支援機構」があります。

なお、日本学生支援機構奨学金には、高等学校3年次に申込み、大学入学後5月から奨学金の貸与・給付が可能な「予約採用」制度があります。在学中の高等学校にお問い合わせください。

提携教育ローン 奨学金制度のほかに、本学学生（入学予定者を含む）を対象とした金融機関提携の「女子美提携教育ローン制度」があり、市中金融機関の教育ローンより低金利となっています。

国の教育ローン 日本政策金融公庫が行っている公的融資制度です。

入学試験での作品について 入学試験での専門試験作品の所有権、著作権は、学校法人女子美術大学に帰属します。専門試験作品の返却はいたしません。
なお合格者の作品は、本学の入試参考作品として公開することがあります。